

## 国有林野事業関係業務の業務・システム最適化計画の概要

### 1 現在の業務・システムの概要

- ・ 国有林野事業の造林、木材販売等の主要業務及び経理、貸付等の定型業務は、改善分散処理システムで効率的に処理。また、森林資源や森林計画に関する情報は、森林情報システムで管理
- ・ 現行システムは、業務の処理に留まっており、事業実行結果の分析・評価の機能が不十分、また、森林情報システムとは直接連携していない等が課題であり、森林情報や森林整備情報などを蓄積・整理する機能を構築し、各種情報の有機的連携と有効活用が図られるよう、システムを再構築する必要

### 2 最適化の実施内容

#### (1) 最適化の効果

- ・ システム運用経費は、年間で約7.3億円（試算値）の削減
- ・ 業務処理時間は、年間延べ約1.1万時間（試算値）の短縮

#### (2) 最適化の実施内容

各種情報の有機的連携と有効活用

森林資源情報、森林整備の計画や事業実行結果に関する情報を有機的に連携させ、業務で容易に有効活用できるよう、記番ごと、時系列に蓄積・管理するデータベース機能を構築

ア 事業実行結果の分析・評価や企画立案への活用による業務の高度化

- ・ 森林計画策定に向け、森林資源や事業結果に基づく分析・評価の高度化
- ・ 森林整備の箇所別の分析・検討など業務予定に係る企画立案業務の高度化
- ・ 森林GISとの連携による二酸化炭素の森林吸収量の報告・検証体制の高度化

イ 国民に開かれた管理経営の推進による国民へのサービスの向上

- ・ 森林情報や森林利用に関する情報の整理と国民への適切な情報提供

ウ 業務の充実・強化による高効率な管理経営の実現

- ・ システム連携によるデータ重複入力の排除、システム操作性の統一
- ・ 各業務の進行管理や実施状況の把握などの業務支援機能の充実
- ・ 法令制限のチェック機能、各種台帳類の検索機能の強化

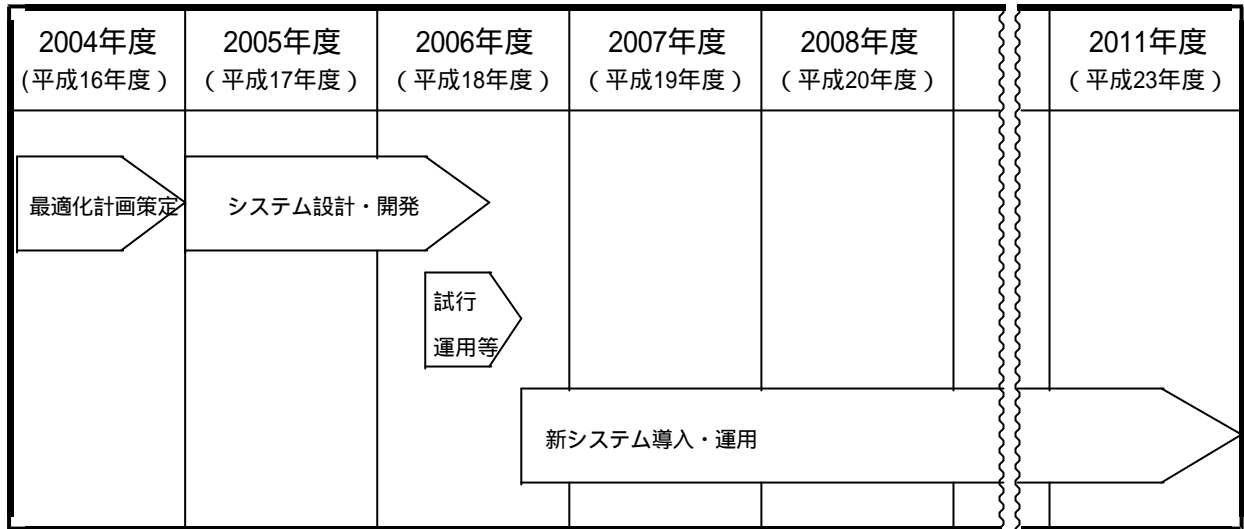
府省共通システムの利用及び連携

人事・給与システムとの連携が図られるよう構築、また、その他の府省共通システムについては、開発スケジュールの動向等を踏まえながら導入に向けて検討

レガシーシステムの刷新による経費削減

システムの統合、拠点の集中化、システムのオープン化、ハードウェアとソフトウェアの分離調達等により経費を削減

### 3 最適化工程表



# 新たなシステムのイメージ図

